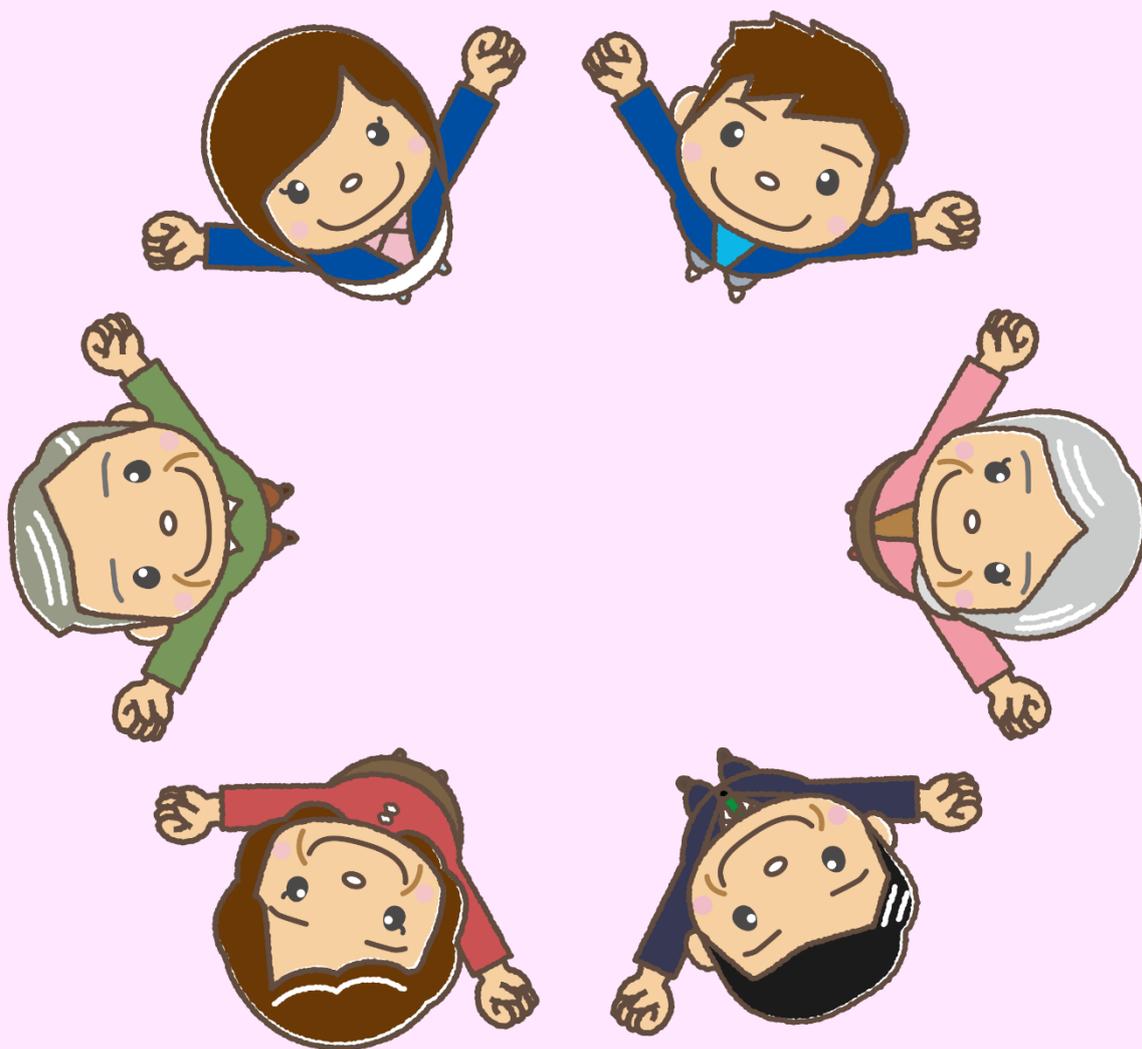


令和4年度 地域福祉活動報告



うるま市社会福祉協議会

コミュニティソーシャルワーカー



～目次～



1. コミュニティソーシャルワーカーとは p2

2. 地域づくり支援事業(出前講座)

具志川自治会(具志川自主防災組織) p3

勝連団地自治会 p4

照間区自治会 p5

松島区自治会 p6

南風原自治会 p7

3. うるま市地域見守りネットワーク事業 p8

4. ふれあいいいききサロン(茶一びら、茶一びら子どもの居場所づくり支援)

照間区自治会

(カラオケサークル歌あしびてるてる、照間こどもサロン) p9、p10

南風原区自治会(南風原こどもサロン) p11

5. ボランティアセンターの地域活動紹介 p12、p13



赤い羽根
共同募金

CSW

～コミュニティソーシャルワーカーとは～



CSW
コミュニティソーシャル
ワーカーって何？

支援が必要な高齢者～子ども(子育て中の両親含む)、障がいをお持ちの方、困窮世帯等の相談を伺い必要なサービスや専門機関への繋ぎをサポートしています。

また、地域で困っている方の支援をするため住民同士にて協力体制を構築したり新しい仕組み作りをコーディネートする役割を担っております。

★コミュニティソーシャルワーカーの役割★

① 相談

支援を必要とする人々の相談対応や、複合的課題を抱える場合は関係機関と連携しながら対応いたします。(個別相談、訪問、電話相談に対応)

② 住民ニーズの把握

相談や地域関係者との情報交換などから地域にある課題やニーズを把握して、解決に向け一緒に考えていきます。また、社協として何ができるか？検討しながら提案し、実施に向けて取り組んでいきます。

③ ネットワークづくり

地域を中心とする活動や必要なサービスを活用できるよう関係者と連携しながら、その人らしい生活が出来るよう支援いたします。また、各専門機関、民生委員・児童委員、自治会などと連携・協力しながら問題解決に向け一緒に考えていきます。

④ 地域推進体制づくり支援

誰一人取り残さない、地域共生社会を目指すため小地域(自治会単位)ごとに地域福祉推進作りの取り組むきっかけづくりや体制作りを支援します。また、各地区やうるま市全体として地域づくりを推進するための活動に取り組んでいきます。



具志川自治会 ～自主防災組織会～



☆出前講座開催に至った経緯☆

令和4年、具志川自主防災組織を立ち上げました。しかし、組織としての活動・勉強会はまだ行っていない為、出前講座で防災マップを作成し、地域住民の把握や水災害等や危険個所の把握を行っていききたい。そして、自主防災組織が主になり、防災・減災に取り組めるような活動を定期的に行い、地域住民との防災及び共助活動の活性化を図っていききたいです。

☆出前講座の様子☆

一回目：自主防災組の活動について、災害時避難行動要支援者名簿について説明を聞きました。普段から声かけあえる顔のみえる地域が災害に強いということがわかりました。



**高台に避難
してください**

**防災 MAP
作成中！！**



二回目：区内の危険個所や避難経路の確認をしました。具志川は人口も多く、海拔2mの海岸沿いから69mの高台まで広範囲！色々な意見がでたい話し合いとなりました。



勝連団地自治会 ～みまわり隊～

1. 出前講座開催に至った経緯

高齢者世帯が増加傾向の中、勝連団地は自治会として各世帯を把握する事が困難で、被災時・緊急時の対応が厳しい状況にあります。その為、日頃から住民同士の支え合い活動の視野を広げ、各種団体との連携体制の構築や、みまわり隊のメンバーを増やしていくことを目的として、出前講座の実施に至りました。



2. 出前講座の様子

1回目は、自治会長よりみまわり隊の立ち上げ理由を話してもらい団地の状況を認識し、どのような世帯を見守りの対象にするのかメンバー間で意見交換をしました。

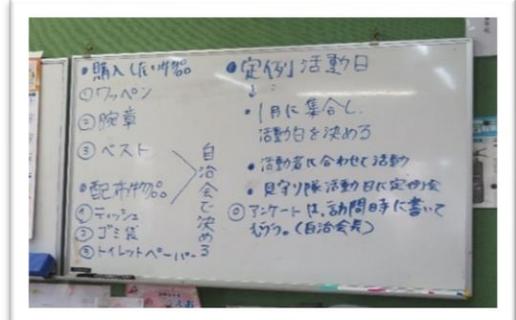
また、「小地域ネットワーク」についてや、かつれん包括より「救急医療情報キット」について説明をして頂き、今後の活動で活かせるよう、共通理解しました。



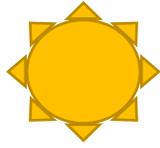
2回目は、1回目の振り返りと、活動の際に使うユニフォームや購入品について話し合いました。住民での見守り活動を中心として、出前講座を終了後も、定期的のみまわり隊の定例会を設けながら活動していくことを確認しました。



一緒に活動してくれるメンバーさん募集中です！！



照間区自治会



自主防災組織



1. 出前講座開催に至った経緯

照間区では、自主防災組織が結成されていますが、現況、活動は低迷しています。高齢者世帯や独居世帯が増え、更にコロナ禍で近隣住民との関わりも薄れてきている現状の中、災害時だけでなく日頃からの見守りや助け合いが必要であることを実感しています。今後の活動を継続していくうえで、出前講座を開講し自主防災組織の必要性や活動における体制づくりを行い、安心して住める環境を整えるため、出前講座を実施しました。

2. 出前講座開催時の様子

1 回目の様子～他地域の防災組織の活動様子をスライドにて視聴した後、花城自治会長より自主防災組織の必要性、防災マップの作成に向け皆様の意見を聞き取りし、次回の防災マップ作製に向け構想を考えました。

2 回目の様子～測量士の花城さんを交え防災マップについて、アドバイスを参考に講座は進行しました。防災マップが出来上がり次第、見守りマップに取り組む予定です。



大丈夫かなあ

測量の時には

ここは危ないよ

こっちだよ



～ 出前講座報告 ～

石川 松島区 見守り隊

1. 出前講座開催に至った経緯

松島区自治会では、コロナ禍で活動休止状態にあった見守り隊「絆の会」を再始動し、住民同士の支え合い活動の視野を広げ各種団体との連携体制の構築や、見守り隊の新規会員を増やしていくことを目的として、実施に至りました。

2. 出前講座の様子



出前講座では、見守り活動再開にあたり、申し合わせ事項の確認や松島区の現状・課題について話し合いました。

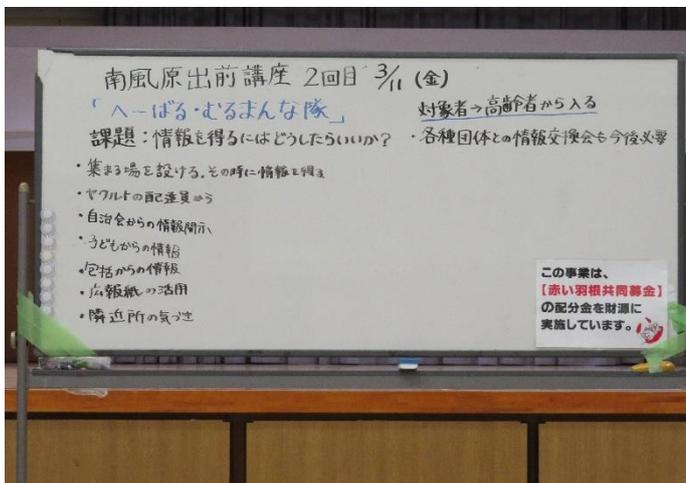
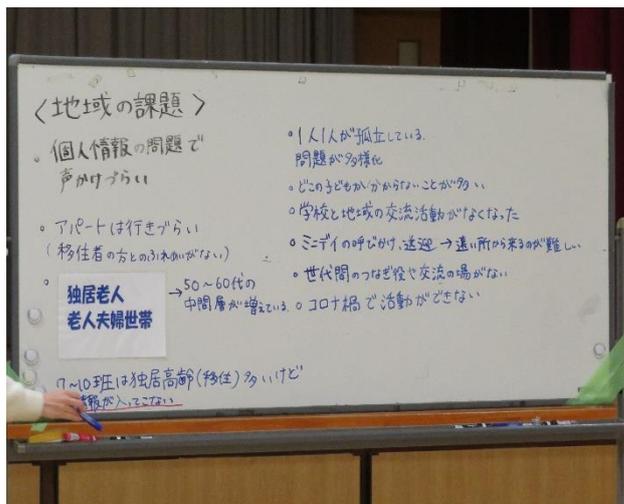
また、いしかわ包括支援センターから「救急医療情報キット」の説明をして頂きました。松島区独自で行うフードドライブと救急医療情報キット、併せて周知活動を行う予定です。

南風原自治会

へーばるむるまんな隊

【出前講座開催に至った経緯】

南風原区は近年、アパートや新興住宅が増え人口も多くなり地域との連携が希薄になっています。その中で高齢者や子ども達の見守りが十分に行えず、孤独死や引きこもりも増えている状況もあり、多くの年代層にて見守り隊を結成し活動の幅を広げたいと思っています。それには、見守りに対しての知識等を勉強会にて学び見守り隊の必要性を実感することに期待し講座を開催しました。



1回目

見守りとは
見守り隊名称
地域の課題

2回目

地域の課題について
見守り隊の活動について

うるま市 ～地域見守りネットワーク事業～

見守りネットワークってなんだろう??

うるま市社会福祉協議会では、様々な福祉問題を早期発見できる体制づくりを目的として、ご協力頂ける、市内民間事業者等と見守りに関する協定を締結しています。

協定事業所は、日頃、通常業務の範囲内で気になる世帯や人を発見した際に、社会福祉協議会へ連絡を行うことになっています。

協定事業所の皆様のご協力を得て「だれもが安心して暮らせる地域(まち)づくり」の実現を目指しています。



地域見守りネットワーク連絡会を開催！！

令和4年11月14日に「地域見守りネットワーク連絡会」を開催いたしました。今年度は、「子どもの見守りについて」をテーマに「パーラーOKI(子ども居場所)」の須藤竜氏を講師としてお招きし勉強会を行いました。



気になる子どものポイントや声掛け

- ① 学校にいる時間帯に町で見かける
- ② 話しをしても視線が合わない
- ③ 衣服や頭髮の汚れや匂い
- ④ 声をかける時は「どうしたの？」



児童相談所虐待対応ダイヤル「189」

虐待かと思った時などに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。

- ・ 「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
- ・ 通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。



ふれあい・いきいきサロン

(茶一びら高齢者の居場所づくり支援) 事業



☆ (照間区自治会) カラオケサークル 歌あしびてるてる



活動のようす



カラオケで健康づくり

- レッツミュージック!
- 認知症予防・ストレス解消
- コロナ禍で開催ができなくなり、家に閉じこもりの毎日。待ちにまった開催日、『我先に』とカラオケの争奪戦でしたが、皆さんの笑顔が素敵です。



照間区自治会

ふれあい・いきいきサロン

(茶一びら子どもの居場所づくり支援) 事業



☆照間こどもサロン☆ 月～金 (放課後の居場所)



照間自治会

・公民館の空きスペースを子どもたちの居場所として活用し、子どもたちが率先して声掛けをしながら宿題をしたり、体を動かし、賑やかに過ごしています。

☆12月20日に照間特産品のピーグを使ってクリスマスのリース作りしました～♡



★プロのバリトン歌手「山田 健氏」によるミニリサイタル★

♡地域の子どもたちに生の声楽を聞いてほしいという声山田さんよりあり開催されました。

南風原こどもサロン

- ・月～金(放課後の居場所) 場所:南風原区自治会
- ・月・水・金 (学習支援) 場所:南風原小学校 地域連携室



南風原公民館では、月曜日から金曜日まで公民館を開放し、宿題をしたりホールで鬼ごっこをするなど自由に過ごせる居場所づくりを行っています。また、月・水・金は南風原小学校の地域連携室で学習支援を行っています。現在登録しているのは26人で、お友達と楽しく自分のペースで宿題を頑張っています。他にも、中高生がボランティアとして協力し、アイシングクッキーや和太鼓体験など、定期的に子供たちが楽しめるイベントを開催しています!!!



ふれあい・いきいきサロン(茶一びら)事業とは・・・

歩いて行ける場所(公民館や集会所など)で、地域の高齢者や子ども、障がいを持っている方、子育ての中の親子などが集い、おしゃべりや趣味活動、学習遊びなどをとおして楽しい時間を過ごし、生きがいや仲間づくりを行う「サロン(居場所)活動」へ支援を行っています。

サロン登録して居場所づくり活動をはじめませんか?

うるま市社会福祉協議会 ～ボランティアセンターのご紹介～

うるま市ボランティアセンター

市民や企業がボランティア・地域貢献に主体的に参加できる体制整備し、地域における福祉コミュニティの形成を図ります。また、市内の幼稚園・小学校・中学校・高等学校等へ福祉教育に関する支援を行い、社会福祉への理解と関心を高め地域福祉の推進に取り組んでいます。

ボランティア体験

例年夏休み期間には「夏のボランティア体験」を実施していたがコロナ禍により、感染予防の観点から対面でのボランティア体験は中止。取り組めるボランティアとして、介護施設で使用するウエス作り、高齢施設へのメッセージ作成を行うプログラムに代替えしボランティア体験を実施しました。



ウエス寄贈



メッセージ寄贈

福祉教育の内容

○アイマスク体験 ○当事者講話 ○点字体験 ○「福祉とは？」



盲導犬ユーザー
(当事者講話)



車いすバスケット
(当事者講話)



アイマスク体験

食料寄贈・食料支援

新型コロナウイルスの影響が続いている中でも、個人や企業からの**支援の輪**が広がり、令和4年度もうるま市ボランティアセンターに多くの食料品等の寄贈が年間を通してありました。頂いた食料については、支援を必要とする世帯へお渡ししています。支援を受けた方からは、「心温まる支援ありがとうございます」や「生活の立て直しをしている状況でした。とても感謝しています」などのお声を頂いております。



★寄贈式の様子★



拓南商事株式会社



丸安プロパン



イオン具志川



社会福祉法人 緑和会



沖縄銀行



みほそあきない組合



ろうきん具志川地区推進委員会



ろうきん友の会



FUTABA-FES実行委員会

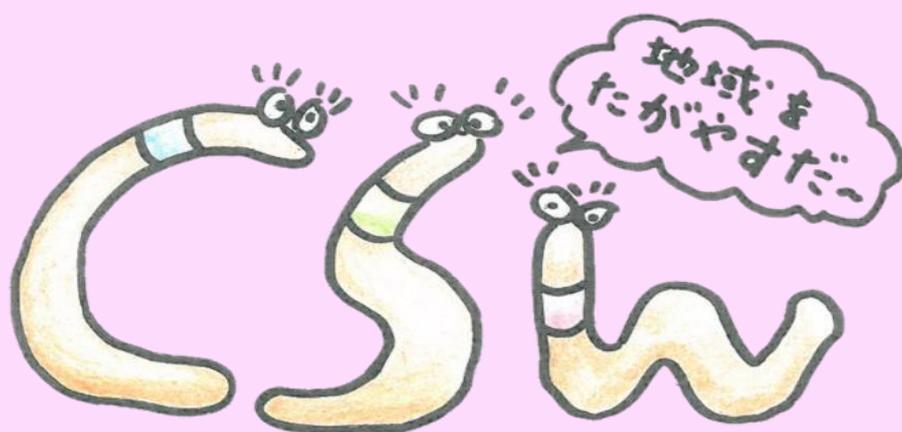


カーブス



「ふくし」の情報発信しています!!
QRコードからどうぞ!!





令和5年 3月

